

富士山噴火に対する県民生活の安全・安心の確保

避難計画の修正・地域住民への理解の促進・噴火警戒レベル運用法の再検討

防災マップ改訂・被害予測・噴火シナリオの高精度化

噴火履歴の高精度化（富士山の噴火特性の理解）

山体近傍での噴火記録 （従来研究）

重点化研究（H28～H30）
富士火山北麓における噴火実績の再検討

1. 雁ノ穴火口の火口位置
2. 富士北麓に堆積した
降灰の実績
3. 富士北麓に到達した
とされる火砕流

↑ 喫緊性の高い噴火に特化

重点化研究（H26～H29）
富士山火山防災のための火山学的研究

1. 富士山形成史の解明
（噴火履歴の研究）

侵食等により断片的
噴火年代不明のことが多い

基礎データの収集

- ・ 北東麓における
未解明のテフラの発見
- ・ 従来の年代推定における
問題点

両記録の統合 （継続研究） （H34～H36）

従来の空白部分
を補完

山麓湖沼での噴火記録 （本重点化研究（H31～H33））

これまでの山体調査では解明で
きなかった富士山北東麓におけ
るテフラ*の噴火履歴を山麓の
湖堆積物を使って明らかにする。

*溶岩を除く火山噴出物の総称

1. 堆積物中の珪藻由来有機分子
を使った年代推定手法の確立
2. 山中湖の堆積物コアを使った
過去8,000年間のテフラ層序と
噴出年代の解明

コアの解析：富士山研
年代測定：富士山研・東大大気海洋研・海洋研究開発機構

連続的な堆積記録
噴火年代の高精度化が可能